平成29年度　事務事業評価シート（詳細）

※平成28年度に実施した事業を評価しています

基本情報

事務事業名	「マイバッグ」頒布事業									
担当部署	環境部		資源循環推進課						事業コード	13
所属長	飯野　英一								事業区分	ソフト事業
予算事業名	環境プラザ管理事務								新規・継続	継続
予算事業コード	会計	10	款	04	項	02	目	01	事業開始年度	平成19年度

1．事業の位置付け、関連事業及び法令による実施義務等（Plan）

第四次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）

基本目標(章)	第6章	地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち	法令による実施義務	義務ではない
施策	36	循環型社会の構築	根拠となる法令	なし
取組施策	1	ごみの発生・排出抑制、分別の徹底	その他実施根拠（条例、要綱等）	なし
関連事業	なし			

2．事業の目的と概要（Plan）

実施主体	市実施（直営）
対象（誰・何を対象に）	市民
目的（対象をどのようにしたいか）	市民にマイバッグの使用を促進し、ごみとなるレジ袋使用量を削減する。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	川越市オリジナルマイバッグを環境プラザ「つばさ館」において来館者に有償頒布する。

3．前年度に立てた計画（Plan）

平成27年度頒布実績から年間72枚（43，200円）を歳入見込みとした。

4．取組実績（Do）

平成28年度頒布実績として計111枚（60，600円）を収入とした。

5．実施にかかるコスト（Do）

（単位:千円）

⑴　支出の部

	26年度	27年度	28年度	29年度(見込額)	備考
人件費　A	0	0	0	0	マイバッグ頒布時に正規職員がマイバッグの受け渡しと頒布金額の受領を行うだけなので人件費算出不可。 事業費については、平成25年度にマイバッグ製作した際の費用（325，500円）のみ。
正規職員（1年間の従事人数）	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
臨時職員（1年間の従事人数）	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
事業費　B	0	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	0	
総支出（A＋B）	0	0	0	0	

⑵　収入の部

国庫支出金	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
使用料・手数料	0	0	0	0	
その他特定財源	43	40	61	36	
一般財源	0	0	0	0	
総収入	43	40	61	36	

6．指標による分析（Check）

⑴ 活動指標

評価指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度（予定）	単位当たり費用（下段は前年度）
マイバッグPR回数	回	4	4	4	4	
指標の定義・説明	ホームページ掲載、つばさ館での展示・頒布、イベント開催時に展示・頒布（年2回）					
						#DIV/0!
指標の定義・説明						#DIV/0!

⑵ 成果指標

評価指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度目標値	将来目標値	単位当たり費用（下段は前年度）
マイバッグ売払収入	円	42,800	39,800	(目標) 43,200 (実績) 60,600	36,000	年度	
指標の定義・説明	マイバッグ頒布による収入額						
マイバッグ頒布枚数	枚	74	67	(目標) 72 (実績) 111	60	年度	
指標の定義・説明	マイバッグの頒布枚数						

7．評価（Check）

項目	評価	評価コメント及び課題等
必要性	市が関与することが妥当であるか、時代の潮流や市民ニーズに対して目的や内容が合っているか	
	D	事業開始当時は、国等の行政主導でマイバッグ使用が盛り上がっていた時期だったが、事業開始から10年が経過し、市民にある程度マイバッグが普及したこともあり、年間の頒布枚数・金額は減少傾向にある。
有効性	施策の目標の達成に貢献しているか	
	A	3Rの1つであるリデュース（ごみの発生抑制）に、マイバッグの普及は貢献している。
達成度	設定した活動・成果指標の目標を達成しているか	
	A	平成28年度は、当初の歳入見込額を上回った。
効率性	民間委託や指定管理者制度の導入は可能か、コスト削減の余地はあるか、受益と負担（補助）の適正化が図られているか	
	A	現在は、平成25年度に製作したマイバッグを頒布しているのみで、コストを削減する余地は無い。また、マイバッグの製作費がほぼ頒布価格になっているので、受益と負担の適正化も図られている。
総合評価	C	事業開始当時は、マイバッグの普及が不十分だったが、事業開始から10年が経過し、民間でも多くのマイバッグが製作され、市民もある程度マイバッグ使用が浸透してきており、事業目的は概ね達成しつつある。

8．今後の方向性及び今後の取組（改善策など）（Action）

今後の方向性	廃止
29年度	当該事業について、新たなマイバッグの作製はせず事業は廃止とし、在庫管理しているマイバッグを頒布する。
30年度	当該事業について、新たなマイバッグの作製はせず事業は廃止とし、在庫管理しているマイバッグを頒布する。

【参考】

⑴ 比較参考値（他市での類似事業の例など）

さいたま市、東埼玉資源環境組合ほか

⑵ これまでの見直しや改善等の経過

平成25年度マイバッグ色追加（ピンク）